



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア

上場取引所 東

コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	789	△4.0	△341	—	△318	—	1,689	—
23年3月期第3四半期	823	8.1	△322	—	△254	—	△232	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,899百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △253百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11,071.59	—
23年3月期第3四半期	△1,523.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	4,196	3,900	92.9	25,543.64
23年3月期	2,292	2,000	87.2	13,095.89

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,898百万円 23年3月期 1,998百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,430	△5.5	△200	—	△190	—	1,800	—	11,795.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(注)持分法適用会社Multimodal Technologies,Inc.(米国)の全株式を譲渡し、持分法適用の範囲から除外いたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	152,602 株	23年3月期	152,602 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	ー株	23年3月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	152,602 株	23年3月期3Q	152,602 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく平成24年3月期（第15期）から平成26年3月期（第17期）の第2次中期経営計画を策定いたしました。当連結会計年度は、第2次中期経営計画のフェーズ1として、第1次中期経営計画で確立したコアドメインを、商品力強化により拡大するとともに新機軸サービス事業へ本格的に取り組んでまいります。

そのような中、売上高に関しましては、金融・製造分野において前年同四半期を上回る実績で推移したものの、当初見込んでいた受託開発案件の獲得が進まないこと等により計画には至りませんでした。また、モバイル分野および医療分野において前年同四半期の売上を牽引した大型案件を補うまでには至らず、全体での売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

損益に関しましては、粗利益率の改善と販売費及び一般管理費の低減に継続的に取り組み、当初計画以上の水準を達成いたしました。また、平成23年8月18日付で、当社持分法適用関連会社であったMultimodal Technologies, Inc.（米国）の当社保有株式全てを、MedQuist Holdings, Inc.（現 MModal Inc. MODL:NASDAQ、米国）に譲渡いたしました（対価の一部としてMODL株式1,204,800株所有しております）。同社を当社グループから除外したため、営業外収益の持分法による投資利益が前年同四半期より減少したものの、関係会社株式売却益2,008百万円を特別利益に計上いたしました。なお、円高の影響により、営業外費用に計上しておりました第2四半期までの為替差損12百万円は当第3四半期の為替変動により762千円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は789百万円（前年同四半期は売上高823百万円）、営業損失は341百万円（前年同四半期は営業損失322百万円）、経常損失は318百万円（前年同四半期は経常損失254百万円）、四半期純利益は1,689百万円（前年同四半期は四半期純損失232百万円）となりました。

音声事業のうち各分野別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① 金融・製造分野

金融・製造分野においては、前年同四半期を上回る実績で推移したものの、当初見込んでいた受託開発案件の獲得が進まないこと等により計画には至りませんでした。

#### ② モバイル・教育・エンターテインメント分野

モバイル分野においては、iPhoneアプリケーション「音声認識メール クラウド」が、App Storeのトップ有料アプリケーションカテゴリーにてランキング第1位を獲得（平成23年12月3日～6日）いたしました。また、医療・金融・保険など幅広い業務で対応が可能なモバイル向けクラウド型音声認識サービス「音声認識ブラウザ for iOS/Android」の販売を開始いたしました。

教育分野においては、当連結会計年度より販売を開始した高校向けの学習に特化した日本人学習者向け英語発音矯正ソフト「AmiVoice<sup>®</sup> CALL -pronunciation-高校版」を、都立高校11校に納入いたしました。

また、2010年7月に発売したコンシューマー向け製品である、パソコンの文字入力を音声入力できるソフト「AmiVoice<sup>®</sup> SP」が累計販売本数1万本を達成いたしました。

#### ③ 医療分野

医療分野においては、新音響モデル対応により認識率を向上させた「AmiVoice<sup>®</sup> Ex7」シリーズの販売を開始し、調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムの販売が好調に推移し、全体としては、ほぼ計画通りに推移いたしました。

#### ④ 議事録分野

議事録分野においては、主力販売パートナーとの連携を強化するとともに、地方自治体の実績をもとに民間企業への提案を推進いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少494百万円と未収入金の増加364百万円等によるものであります。固定資産は2,370百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,937百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が1,972百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,904百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は215百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少いたしました。これは主に買掛金が76百万円減少したことによるものであります。固定負債は80百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が65百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、296百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,899百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,689百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は92.9%（前連結会計年度末は87.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第3四半期までの実績および今後の動向を勘案した結果、平成23年8月29日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年2月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 持分法適用会社Multimodal Technologies, Inc.（米国）の全株式を譲渡し、持分法適用の範囲から除外いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,177,658	1,230,451
受取手形及び売掛金	635,513	141,366
商品及び製品	22,874	21,474
仕掛品	9,106	11,527
原材料及び貯蔵品	4	321
未収入金	—	364,342
その他	18,777	61,270
貸倒引当金	△4,628	△5,076
流動資産合計	1,859,306	1,825,677
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,699	67,979
減価償却累計額	△28,596	△33,521
建物（純額）	39,102	34,457
その他	89,829	90,465
減価償却累計額	△69,297	△76,893
その他（純額）	20,532	13,571
有形固定資産合計	59,635	48,029
無形固定資産		
ソフトウェア	43,559	22,493
リース資産	2,160	540
無形固定資産合計	45,719	23,033
投資その他の資産		
投資有価証券	253,902	1,734,298
敷金及び保証金	73,404	73,536
破産更生債権等	195,150	—
長期未収入金	—	277,934
長期前払費用	—	214,249
その他	87	756
貸倒引当金	△195,150	△1,289
投資その他の資産合計	327,394	2,299,485
固定資産合計	432,749	2,370,548
資産合計	2,292,055	4,196,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,967	34,957
未払金	30,057	36,697
リース債務	5,206	2,377
未払法人税等	10,309	15,534
前受金	54,180	70,383
仮受金	30,769	28,642
その他	33,831	26,776
流動負債合計	275,322	215,367
固定負債		
リース債務	1,387	190
繰延税金負債	8,060	73,739
資産除去債務	6,774	6,866
固定負債合計	16,223	80,796
負債合計	291,546	296,164
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,585,097	4,585,097
資本剰余金	3,577,231	3,577,231
利益剰余金	△6,078,271	△4,388,725
株主資本合計	2,084,057	3,773,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25	130,781
為替換算調整勘定	△85,572	△6,373
その他の包括利益累計額合計	△85,598	124,407
新株予約権	2,050	2,050
純資産合計	2,000,509	3,900,061
負債純資産合計	2,292,055	4,196,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	823,118	789,856
売上原価	340,180	310,181
売上総利益	482,937	479,675
販売費及び一般管理費	805,748	821,418
営業損失(△)	△322,810	△341,743
営業外収益		
受取利息	8,750	3,477
有価証券利息	—	4,742
持分法による投資利益	80,049	22,233
雑収入	542	383
営業外収益合計	89,342	30,837
営業外費用		
支払利息	440	225
為替差損	17,271	762
支払手数料	3,170	—
デリバティブ評価損	—	3,354
貸倒引当金繰入額	—	2,979
雑損失	251	—
営業外費用合計	21,133	7,322
経常損失(△)	△254,601	△318,228
特別利益		
貸倒引当金戻入額	30,181	—
関係会社株式売却益	—	2,008,502
持分変動利益	—	2,848
特別利益合計	30,181	2,011,350
特別損失		
固定資産除却損	57	26
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,199	—
その他	—	7,442
特別損失合計	2,257	7,469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226,677	1,685,652
法人税、住民税及び事業税	5,812	2,850
法人税等調整額	—	△6,743
法人税等合計	5,812	△3,893
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△232,490	1,689,546
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△232,490	1,689,546



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△232,490	1,689,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	130,781
為替換算調整勘定	△1,926	△2,350
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,926	81,574
その他の包括利益合計	△20,852	210,005
四半期包括利益	△253,343	1,899,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△253,343	1,899,552
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、第2四半期連結会計期間において関係会社株式を譲渡し、関係会社株式売却益2,008,502千円を特別利益に計上いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が△4,388,725千円となっております。

(5) 重要な後発事象

株式会社サイバークラーク研究所の第三者割当増資引受け（持分法適用関連会社化）について

当社は、本日平成24年2月3日の臨時取締役会において、株式会社サイバークラーク研究所が実施する第三者割当増資を平成24年2月8日に引受けを決議いたしました。この引受けにより同社は当社グループの持分法適用関連会社となります。

(1) 引受けの目的

当社は音声データを高精度にテキスト化する技術・ネットワークを構築してきており、今後の具体的な事業の推進、拡大が見込まれており、当社グループの医療分野における音声の自動テキスト化を利用したサービス事業の拡大に相乗効果が期待されることから、第三者割当増資を引受けました。

(2) 引受けの会社の名称、事業内容、規模

①名称

株式会社サイバークラーク研究所

②事業内容

電子的に人の発話を高精度のテキストに変換し記録を行うサービス  
電子的に有用な情報へ変換するサービス

③規模

売上高	41,884千円
営業損失	36,006千円
経常損失	35,949千円
当期純損失	36,239千円

(平成23年3月期)

(3) 引受日

平成24年2月8日

(4) 取得株式数、取得価額および取得後の持分比率

①取得株式数	10,000株
②取得価額	100,000千円
③取得前の持分比率	3.8%
④取得後の持分比率	30.5%